



「令和 5 年度 東日本大震災アーカイブシンポジウム」

双葉町における震災資料保全の取り組みについて

令和 6 年 1 月 8 日（月）

【発表者】： 福島県双葉町役場

総務課長兼秘書広報課長 橋本靖治



双葉町における震災資料保全の取り組みについて

1. 双葉町の現状
2. アーカイブズ事業の取り組み
3. 震災資料保全の事例
 - (1) 文化財レスキュー
 - (2) 加須市 旧騎西高校避難所内の資料保全
 - (3) 原子力広報塔の撤去、及び保全
 - (4) 双葉町東日本大震災記録誌の制作
 - (5) 3Dレーザー測量による3Dデータ取得
 - (6) 東京電力通報メモ模造紙の保全
 - (7) 津波被災 消防車両の保全
 - (8) 津波被災 四郎田橋ガードレールの保全
4. 今後の取り組み
5. 課題



双葉町における震災資料保全の取り組みについて

1. 双葉町の現状

【双葉町の概要】



◇人口：7,140人（平成23年3月）

◇面積：51.42km²

【東日本大震災以降の避難状況】

- ・平成23年3月11日 東日本大震災及び原発事故
- ・平成23年3月12日 福島県川俣町へ避難
- ・平成23年3月19日 埼玉県さいたま市へ避難
- ・平成23年3月30日 埼玉県加須市へ避難
(旧騎西高校へ役場機能を設置)
- ・平成25年6月17日 福島県いわき市へ役場機能を
移転
- ・令和 4年8月30日 町内の一部区域が避難指示解除
され居住が可能となる。

(※R6.1月現在、約100名が町内に居住)



双葉町における震災資料保全の取り組みについて

2. アーカイブズ事業の取り組み

【復興まちづくり計画（第1次、第2次、第3次）の策定】（平成25年～）

- ・双葉町復興まちづくり計画（第1次、第2次、第3次）において「震災・事故の教訓と復興の過程の記録・発信・伝承」を行うと明記

【双葉町アーカイブ事業推進連絡会議の設置】（平成28年～）

- ・平成28年4月に庁内関係課による組織を設置。町としてアーカイブ事業の取り組みを始める。（事務局は秘書広報課）

【3町震災アーカイブズ勉強会の設置】（平成28年～）

- ・浪江町、大熊町、双葉町のアーカイブ担当者による勉強会を設置し、専門家講師による勉強会や先進地視察研修などを実施
- ・3町連携し、地方創生加速化交付金を申請。各町70,000千円程度の交付金により3Dデータの取得などを実施

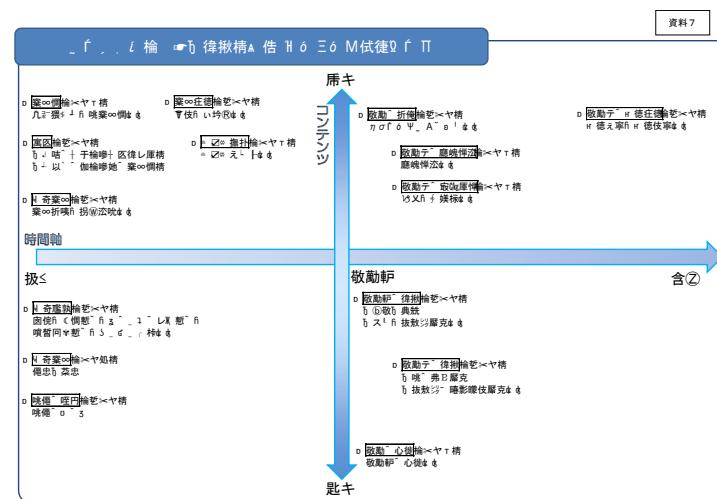


双葉町における震災資料保全の取り組みについて

2. アーカイブズ事業の取り組み

【平成28年当時、アーカイブズ事業の取組みを始めるにあたり困ったこと】

- ◇主担当者は一般行政職員。学芸員ではない。
- ◇庁内唯一の学芸員は、生涯学習・社会教育の業務や試掘調査、文化財レスキューなど多忙
- ◇そもそも、アーカイブ・アーカイブズとは何？
- ◇アーカイブとは何をすれば良いの？
- ◇アーカイブとは、記録・保存したりすること？
では何を、どのように記録・保存すれば良いのか？



参考：双葉町アーカイブ事業推進連絡会議 資料



双葉町における震災資料保全の取り組みについて

【勉強会や先進地視察研修、各学芸員との取り組みの中で学んだこと】

- ◇東日本大震災、及び原子力災害の痕跡を示す資料保全の重要性
- ◇「アーカイブ」という学術的な観点・目的よりも、「伝える」というキーワードで物事を考えるとしっくりくる。後世へ伝える。人々へ伝える。

→※ 3 町勉強会や先進地を視察研修などにより、何となくやるべきことを理解



廃棄処分されそうなガレキにも価値があり、保全しなければ貴重な震災資料が失われる！



＜学芸員あるある＞

- ・一般的にはガレキ（廃棄物）でも価値を見出す
- ・避難所に放置されている飲み掛けのペットボトルでさえも価値を見出す
- ・文書（ぶんしょ）をモンジョという
- ・石碑に興味をもつ
- ・元号で年代がわかる
- ・古文書の文字が読める
- ・古文書を扱っているとき楽しそう
- ・デジタル化よりも、やっぱり紙



双葉町における震災資料保全の取り組みについて

3. 震災資料保全の事例

(1) 文化財レスキュー

- ・平成23年7月から「双葉町歴史民俗資料館」内に展示・保管されていた文化財等を搬出。
- ・平成24年からは「福島県被災文化財等救援本部」や福島県立博物館など多数の支援を受け、文化財レスキューを行った。
- ・搬出した文化財は、福島県文化財センター白河館（まほろん）などで保全





双葉町における震災資料保全の取り組みについて

3. 震災資料保全の事例

(2) 加須市 旧騎西高校避難所内の資料保全

- ・平成25年6月1日付で筑波大学図書館情報メディア系と双葉町教育委員会が「震災関連資料の保全及び調査研究に関する覚書」を締結
- ・平成25年6月に役場機能が移転し、避難所が閉鎖される前に全国や世界各国から寄せられた千羽鶴や寄せ書き、避難所内の掲示物などを搬出し筑波大学で保全
- ・筑波大学のホームページ「福島県双葉町の東日本大震災アーカイブズ」で紹介





双葉町における震災資料保全の取り組みについて

3. 震災資料保全の事例

(3) 原子力広報塔の撤去、及び保全

- ・平成27年度当初予算で、町内に2基あった原子力広報塔（看板）を老朽化のため撤去処分する予算を計上。約30年前に広報塔の標語を考案した町民などから撤去反対運動があり、町は保全することを検討。あくまで老朽化による撤去が要因であり、原発事故に関する政治的な意図は全くなかった。
- ・平成28年3月4日に現場から撤去し、役場駐車場へ保管。文字盤については、福島県立博物館に搬出し保全（※現在は東日本大震災・原子力災害伝承館で展示）





双葉町における震災資料保全の取り組みについて

3. 震災資料保全の事例

(4) 双葉町東日本大震災記録誌の制作

- ・平成29年3月に「双葉町東日本大震災記録誌 後世に伝える震災・原発事故」を発行し、全世帯へ配付
- ・記録誌の制作にあたって、町民や職員約60名から震災体験のヒアリングを行い、その証言を記載。証言の様子はHD動画（一人あたり約90分）で記録
- ・東日本大震災で何が起きたのか、町民や職員は何を体験したのかを記録





双葉町における震災資料保全の取り組みについて

3. 震災資料保全の事例

(5) 3 Dレーザー測量による3 Dデータ取得

- ・平成28、29年度に3 Dレーザー測量を実施
- ・ドローンによる町内8 km²の3 Dデータ、及びMM Sによる主要道路約30kmの3 Dデータ、学校など8施設の3 Dデータを取得
- ・3 Dデータを保存することにより、静止画や動画だけではなく、町の様子をV R体験できるデータを後世に残すことができる。V R活用の手法について検討中



双葉町における震災資料保全の取り組みについて

3. 震災資料保全の事例

(6) 東京電力通報メモ模造紙の保全

- ・平成23年3月11日震災時に東京電力(株)から役場への通報連絡をメモした模造紙4枚、及び避難所開設の状況メモ1枚を筑波大学においてレプリカ制作
- ・原本については筑波大学において保全。レプリカ1セットは、双葉町内役場庁舎内で震災当時のように展示中
- ・通報メモ模造紙は、原発事故の状況を示す貴重な資料





双葉町における震災資料保全の取り組みについて

3. 震災資料保全の事例

(7) 津波被災 消防車両の保全

- ・平成23年3月11日震災時に沿岸部で消防活動し、津波で流された双葉町第9分団の消防車両を保全。津波ガレキとして回収され、処分されようとしていた。
- ・福島県から震災資料の収集を受託している「福島大学つくしまふくしま未来支援センター（FURE）」の協力により、津波ガレキ置場から役場庁舎敷地へ運搬し保全
- ・現在は東日本大震災・原子力災害伝承館で展示中





双葉町における震災資料保全の取り組みについて

3. 震災資料保全の事例

(8) 津波被災 四郎田橋ガードレールの保全

- ・平成23年3月11日震災時に津波により被災した四郎田橋のガードレールを保全
- ・福島県から震災資料の収集を受託している「福島大学つくしまふくしま未来支援センター（FURE）」の協力により、現場から解体撤去し役場庁舎敷地へ運搬し保全
- ・将来的には、東日本大震災・原子力災害伝承館などでの展示を検討中





双葉町における震災資料保全の取り組みについて

4. 今後の取り組み

(1) 双葉町アーカイブ事業推進連絡会議の定期開催

- ・町のアーカイブズ事業の方針等について、定期的に報告、及び協議

(2) 双葉町アーカイブズ基本方針の運用

- ・これまで場当たりの行っていたものを基本方針として体系的に整理し、実施・運用

(3) 震災資料・震災遺産の収集・保全

- ・優先度、重要度を検討しながら震災資料・震災遺産を収集、及び保全





双葉町における震災資料保全の取り組みについて

5. 課題

(1) アーカイブズ事業に関わる専門職員の不足と人材育成

- ・現在、学芸員2名は生涯学習・社会教育の業務や試掘調査、文化財レスキューなど多忙
- ・アーカイブズ事業を理解した職員を育成しなければ事業の継続が困難

(2) 震災資料の保管場所・展示場所の確保

- ・東日本大震災・原子力災害伝承館に震災関連資料の一部を寄託などして保管・展示しているが、残りの資料の保管場所・展示場所・展示方法について検討が必要

